

2月27日(月)玉祥寺このみやおどり

菊池市玉祥寺にある春日神社で、市の無形民俗文化財に指定されている「このみやおどり」があり、たくさんの地元区民などで賑わいました。

同神社の例祭前夜の2月27日に合わせて毎年行なわれているもので、「このみや」の意味や由来、起源などはよく分かっていないものの、約550年前から伝わる神事とされています。

祭りは、どてらに編み笠、腰にずだ袋、背中にきねを背負った奇妙な格好の御大将2人が監視する前で、姉さんかぶりにタスキがけの女装した男衆2人が太鼓をたたきながら讃頭の歌に合わせて踊る、素朴かつユーモラスなもので、見物客の笑いを誘っています。

踊りが終わると、安全と五穀豊穡を祈って手締めをし、親睦を深める宴もありました。



春日神社の境内であった「このみやおどり」で、舞う女装した男衆2人

3月2日(木) ノービザでの韓国からの観光客第1号が、菊池市役所を訪問

菊池市が平成14年から提唱していた、韓国からの観光客などに対する短期査証(ビザ)免除措置の恒久化が3月1日から実現し、その第1号となったソウル在住のイ・ユウソンさんと長男のジョン・ジェジュンちゃん親子が、菊池市役所を表敬訪問しました。

平成9年から菅 秀男さん家族(☉ 小木)と親交を続けているイさんは「これまでは来日のたびに、ソウルの日本大使館まで1時間かけてビザを取りに行っていました。今回の短期ビザ免除で、とても手続きが楽になり、日本を身近に感じます。本当にありがたいです」と話されました。

滞在中、イさん親子は、菅さんの案内で菊池市内や九州内の観光地などを訪れ、3月9日(木)に帰国しました。

今回の短期ビザ免除措置の恒久化で、韓国からの観光客の増加が期待されます。



菊池市役所を訪れたイ・ユウソンさん(左から1番目)とカメラを前にポーズを取る長男のジョン・ジェジュンちゃん(左から2番目)

2月28日(火) 戦没者245柱の慰霊祭

戦没者245柱の慰霊祭が、旭志総合支所駐車場西側にある慰霊碑前であり、遺族や来賓など約100人が参列しました。

戦後から61年を迎える今年、世界では今なおテロなどの恐怖にさらされている人たちがたくさんいます。

2年に1度行われている慰霊祭の参加者は、戦没者に祈りをささげ、平和への思いを新たにしました。



旭志総合支所の慰霊碑前であった慰霊祭で、戦没者に祈りをささげる参列者たち

3月6日(月)旧菊池市管内のミニバレーボール協会が、ミニバレーボール用ネットを寄贈

旧菊池市管内のミニバレーボール協会から、同協会の20周年を記念して、ミニバレーボール用ネット10張が菊池市に寄贈されました。

同協会は、菊池市のミニバレーボール普及などに貢献しているほか、「熊本県体づくり」の県表彰を受賞するなどの実績も評価されています。

寄贈されたミニバレーボール用ネット10張は、菊池市内の体育館施設で活用される予定です。

ありがとうございました。



2月15日(水) 菊池市公民館支館連絡協議会の表彰

花房支館長を務めた岡本康親さん(☉ 木柑子)が、菊池市公民館支館連絡協議会の表彰を受け、田中教育長から表彰状が授与されました。

これは、支館(校区公民館)活動にあたって、特に運営に創意と工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献した人に対して、その業績をたたえ表彰するものです。

岡本さんは、平成5年4月から平成8年3月までの3年間は同支館の運営委員を、平成14年4月から平成17年3月までの3年間は同支館長を務め、その功績が認められて、今回の表彰となりました。

永年にわたり、ご苦労さまでした。



田中教育長(右)から表彰状を受け取る岡本康親さん(右から2番目)

2月23日(木) 熊本県スポーツ優秀大賞表彰式

平成17年に開催されたスポーツの全国大会などで優秀な成績を収めた団体や個人を、県が表彰する「県スポーツ優秀大賞表彰式」が県庁であり、全国高校生銃剣道大会の女子個人の部で優勝した平川真衣さん(菊池高校1年・銃剣道泗水少年クラブ所属)と、同大会男子個人1年生の部で優勝した小林卓矢さん(菊池高校1年・銃剣道泗水少年クラブ所属)が表彰されました。

熊本県庁であった授賞式では、金沢副知事が「皆さんの活躍は県民に夢と感動を与えてくれました」とあいさつし、賞状とメダルが授与されました。



県スポーツ優秀大賞を受賞した平川真衣さん(左)と、小林卓矢さん(右)

2月23日(木)動く環境教室 ~親子で楽しくごみ問題を体験学習~

旭志幼稚園の全園児とその保護者を対象に、同幼稚園で「動く環境教室」がありました。

旭志の地球温暖化防止活動推進員の藤江サチ子さんを中心に、菊池郡市の推進員や熊本県環境センターも協力して行なわれ、教室では、ビデオや人形を使ってごみの処分や分別などを勉強したり、様々な色のピンをリサイクルして作ったガラスの粒を使った作画「リ・グラスアート」の体験を親子で協力して楽しみました。

地球温暖化防止活動推進員は、熊本県から委嘱を受けて日常生活での省エネ・省資源の普及啓発に取り組んでおり、菊池市内では4人が活動しています。



「リ・グラスアート」に挑戦する参加者たち

2月27日(月) 旭志ゴルフ大会の益金を寄付

旭志ゴルフ大会で集まった益金33,500円が、社会福祉協議会に寄付されました。

菊池市役所を訪れた同大会々長の吉野正義さん(☉ 伊萩)が「社会福祉協議会の費用として使ってください」と、寄附金を渡すと、村上助役と社会福祉協議会の宮川事務局長が「ありがとうございます。地域福祉推進のため、市民の皆さんのために、有意義に使わせていただきます」とお礼を述べました。

このゴルフ大会は、平成11年のくまもと未来国体以来、毎年くまもと中央カントリークラブで行なわれているもので、今回は2月26日(日)に菊池市民など約70人が参加して行なわれました。



村上助役(左)に、旭志ゴルフ大会で集まった益金を手渡す吉野正義さん(右)